

2022年度上半期
(2022年4月-9月)

宿泊業の倒産状況

2022年10月11日
プレスリリース

おかげさまで130年

 株式会社 東京商工リサーチ

倒産概況

2022年度上半期（4-9月） 宿泊業の倒産

（負債額1,000万円以上の企業倒産）

	倒産件数	負債総額
	46 件	125億3,900万円
前年同期比	+ 15.00%	▲ 89.13%
2021年度上半期	40 件	1,153億6,500万円
前期比	+ 48.38%	▲ 30.10%
2021年度下半期	31 件	179億4,100万円

※TSRの倒産集計は、1952年の集計開始以来、法的倒産と私的倒産を含む

問合先：経済研究室
電話：03(6910)3157

年度上半期の倒産件数は2年ぶりに前年を上回る、7割が「新型コロナ」関連

2022年度上半期（4-9月）の宿泊業の倒産は、件数が46件（前年同期比15.0%増）で、2年ぶりに前年同期を上回った。2020年同期からの反動で減少に転じた前年同期を上回ったものの、緩やかな増加にとどまった。

負債総額は125億3,900万円（同89.1%減）で、3年ぶりに前年同期を下回った。前年同期に（株）東京商事（TSR企業コード：320178285、特別清算、負債1,004億8,300万円、東京都）が発生しその反動で減少した。一方で、負債5億円以上10億円未満が5件（前年同期4件）で前年同期比25.0%増、負債1億円以上5億円未満も27件（同14件）で同92.8%増とともに増加し、中堅規模の倒産が増加した。

「新型コロナウイルス」関連倒産は、32件で全体の7割（構成比69.5%）を占めた。

宿泊業の倒産 月次推移

（負債総額単位：百万円）

年 月	2019(令和1)年		2020(令和2)年		2021(令和3)年		2022(令和4)年	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
1月	9	51,329	10	3,015	9	4,100	4	1,264
2月	8	2,072	5	2,128	8	829	3	2,472
3月	5	230	6	1,429	13	9,916	8	4,815
4月	2	3,568	25	17,985	3	1,916	11	2,513
5月	4	940	10	8,215	7	102,229	8	2,044
6月	2	270	16	10,152	3	737	7	1,787
7月	9	1,668	7	1,112	6	609	10	1,647
8月	4	651	4	2,900	14	7,520	8	4,150
9月	7	797	9	3,001	7	2,354	2	398
10月	8	3,101	13	5,887	8	8,543		
11月	12	18,366	8	1,593	4	609		
12月	5	43,135	5	595	4	238		
年計	75	126,127	118	58,012	86	139,600	61	21,090

各種動向

原因別では、「販売不振」が35件（前年同期比9.3%増）と増加。ただ、構成比では76.0%と前年同期（80.0%）を4ポイント下回った。次いで、「既往のシワ寄せ」が6件（前年同期比50.0%増）、「他社倒産の余波」3件（前年同期ゼロ）と続く。

形態別では、破産が38件（前年同期比31.0%増）で、全体の8割（構成比82.6%）を占めた。次いで、特別清算が7件（前年同期比12.5%減）と続き、破産と合わせた「消滅型倒産」は45件で9割超（構成比97.8%）を占める。一方、「再建型」は民事再生法1件（前年同期比50.0%減）にとどまった。

資本金別では、最多が1千万円以上5千万円未満が21件（前年同期比5.0%増）で全体の4割超（構成比45.6%）を占めた。次いで、1百万円以上5百万円未満9件（前年同期比28.5%増）、5百万円以上1千万円未満7件（同40.0%増）と続いた。前年同期に3件発生した1億円以上はゼロだった。

負債額別では、最多は1億円以上5億円未満が27件（前年同期比92.8%増）で全体の約6割（構成比58.6%）を占めた。次いで、1千万円以上5千万円未満8件（前年同期比27.2%減）、5億円以上10億円未満5件（同25.0%増）と続いた。

従業員数別では、最多が5人未満で32件（前年同期比18.5%増）と全体7割（構成比69.5%）を占めた。次いで5人以上9人未満8件（前年同期比100.0%増）が続いた。

地区別では、増加は北海道（1→2件）、北陸（1→6件）、近畿（4→6件）、中国（2→4件）、四国（1→2件）、九州（6→7件）の6地区、減少は東北（5→4件）など3地区だった。

主な倒産事例・今後の見通し

◇（株）リベルダージ（TSR企業コード:025889540、富山県富山市）は8月29日、富山地裁より破産開始決定を受けた。

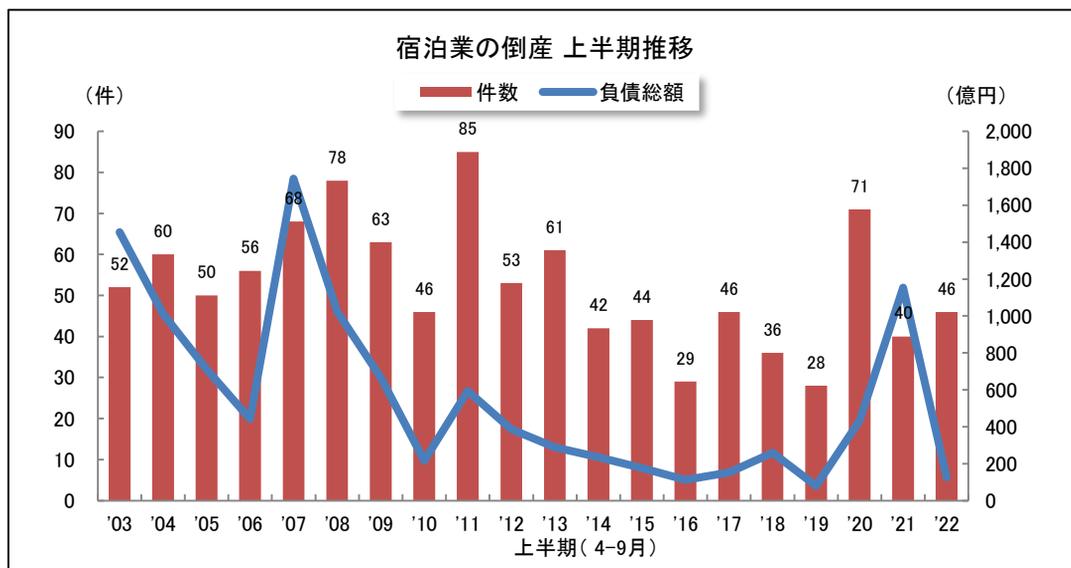
富山市の中心部で「喜代多旅館」を運営していた。2019年にはフルリノベーション工事を実施し、バリアフリー機能のある洋室や、共有キッチンなどを設置していたほか、フレンチレストランを旅館施設に併設するなどユニークな試みで知られていた。しかし、2020年以降、「新型コロナウイルス」感染拡大によるインバウンド客の減少や緊急事態宣言発令による外出自粛などから経営環境が急激に悪化。さらに、リノベーションへの資金投下も負担となり、資金繰りを圧迫した。その後も商況面に回復の兆しはなく、資金繰りも限界に達したことで2022年5月に事業を停止した。負債総額は約3億7,000万円。

【今後の見通し】

2022年度上半期の宿泊業倒産は46件で、前年同期（40件）から15.0%増加した。「新型コロナウイルス感染拡大」で、急激に業況が悪化した2020年度上半期（71件）の反動減があった前年同期からは増加したものの、増勢ペースは緩やかだった。

2022年3月下旬に全国でまん延防止等重点措置が解除されたことで、大手航空会社では5月の大型連休、8月のお盆シーズンには対前年同期比で140%以上の旅客数まで回復。国内観光の機運も高まった。10月11日、一部地域を除き「全国旅行支援」が開始された。上限価格はあるものの、宿泊に掛かる金額の40%が補助されることから、さらなる遠出観光への需要増が期待される。一方で、9月には政府系金融機関による「実質無利子・無担保融資」の受付が終了となったほか、10月には雇用調整助成金や休業支援金も規模を縮小するなど、資金繰り支援から本業支援へと移行しつつある。このため、業績の回復に時間を要する企業による手元資金が枯渇する息切れ倒産が懸念される。

上半期推移



宿泊業の倒産 上半期推移

上半期(4-9月)	件数		負債総額		平均 負債額
	(件)	前年比	(百万円)	前年比	
2003年度上半期	52	▲25.71%	145,385	34.81%	2,795
2004年度上半期	60	15.38%	101,202	▲30.39%	1,686
2005年度上半期	50	▲16.66%	71,143	▲29.70%	1,422
2006年度上半期	56	12.00%	44,155	▲37.93%	788
2007年度上半期	68	21.42%	174,426	295.03%	2,565
2008年度上半期	78	14.70%	102,238	▲41.38%	1,310
2009年度上半期	63	▲19.23%	66,621	▲34.83%	1,057
2010年度上半期	46	▲26.98%	21,557	▲67.64%	468
2011年度上半期	85	84.78%	59,438	175.72%	699
2012年度上半期	53	▲37.64%	38,629	▲35.00%	728
2013年度上半期	61	15.09%	28,892	▲25.20%	473
2014年度上半期	42	▲31.14%	23,461	▲18.79%	558
2015年度上半期	44	4.76%	17,585	▲25.04%	399
2016年度上半期	29	▲34.09%	11,290	▲35.79%	389
2017年度上半期	46	58.62%	15,235	34.94%	331
2018年度上半期	36	▲21.73%	25,905	70.03%	719
2019年度上半期	28	▲22.22%	7,894	▲69.52%	281
2020年度上半期	71	153.57%	43,365	449.34%	610
2021年度上半期	40	▲43.66%	115,365	166.03%	2,884
2022年度上半期	46	15.00%	12,539	▲89.13%	272

2022年度上半期宿泊業 原因別倒産状況

主因	明細	件数				負債総額(百万円)			
		当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
放漫経営	事業上の失敗	1	2.17%	0.00%	1	40	0.31%	300.00%	10
	事業外の失敗	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
	融手操作	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
	(小計)	(1)	(2.17%)	(0.00%)	(1)	(40)	(0.31%)	(300.00%)	(10)
過小資本	運転資金の欠乏	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
	金利負担の増加	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
	(小計)	(0)	(0.00%)	-	(0)	(0)	(0.00%)	-	(0)
他社倒産の余波		3	6.52%	-	0	2,298	18.32%	-	0
既往のシワ寄せ	①赤字累積	6	13.04%	50.00%	4	1,551	12.36%	▲98.48%	102,316
信用性低下	取引先の打切り	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
販売不振	②	35	76.08%	9.37%	32	8,000	63.80%	▲36.47%	12,593
売掛金等回収難	③	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
在庫状態悪化		0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
設備投資過大		1	2.17%	0.00%	1	650	5.18%	400.00%	130
その他	偶発的原因	0	0.00%	▲100.00%	2	0	0.00%	▲100.00%	316
合計		46	100.00%	15.00%	40	12,539	100.00%	▲89.13%	115,365
不況型倒産(①+②+③)		41	89.13%	13.88%	36	9,551	76.17%	▲91.68%	114,909

2022年度上半期宿泊業 地区別倒産状況

地区	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
北海道	2	4.34%	100.00%	1	299	2.38%	▲63.97%	830
東北	4	8.69%	▲20.00%	5	819	6.53%	19.21%	687
関東	9	19.56%	▲30.76%	13	1,070	8.53%	▲98.98%	105,301
中部	6	13.04%	▲14.28%	7	1,371	10.93%	▲70.26%	4,610
北陸	6	13.04%	500.00%	1	2,122	16.92%	13162.50%	16
近畿	6	13.04%	50.00%	4	3,080	24.56%	792.75%	345
中国	4	8.69%	100.00%	2	1,288	10.27%	224.43%	397
四国	2	4.34%	100.00%	1	314	2.50%	503.84%	52
九州	7	15.21%	16.66%	6	2,176	17.35%	▲30.41%	3,127
合計	46	100%	15.00%	40	12,539	100%	▲89.13%	115,365

2022年度上半期 主な「宿泊業」の倒産

企業コード	商号	所在地	資本金 (千円)	負債額 (百万円)	倒産原因	倒産形態
136997678	(株)ランドナーージャパン京都マネジメント	京都府	80,000	2,100	他社倒産の余波	破産
580113914	粟津観光(有)金閣	石川県	3,000	676	販売不振	破産
295317590	エバーランド(株)	福岡県	90,000	650	設備投資過大	特別清算
870581929	(株)ティージーエイチ	長崎県	95,000	600	販売不振	特別清算
580045676	(株)辻のや	石川県	36,000	534	販売不振	破産
770058850	(有)枕水館	山口県	6,000	500	販売不振	破産
942102550	(有)ホテル桂荘	鹿児島県	3,000	432	既往のシワ寄せ	破産
360308813	(有)照本	神奈川県	8,000	400	販売不振	破産
641177348	(株)京都シティホテル	京都府	10,000	380	販売不振	破産
760088861	サンリゾート(株)	島根県	9,300	378	販売不振	破産

2022年度上半期宿泊業 形態別倒産状況

形態	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
会社更生法	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
民事再生法	1	2.17%	▲50.00%	2	100	0.79%	▲95.11%	2,047
(再建型)	(1)	(2.17%)	(▲50.00%)	(2)	(100)	(0.79%)	(▲95.11%)	(2,047)
破産	38	82.60%	31.03%	29	10,143	80.89%	8.60%	9,339
特別清算	7	15.21%	▲12.50%	8	2,296	18.31%	▲97.79%	103,936
(消滅型)	(45)	(97.82%)	(21.62%)	(37)	(12,439)	(99.20%)	(▲89.01%)	(113,275)
法の倒産	46	100.00%	17.94%	39	12,539	100.00%	▲89.12%	115,322
取引停止処分	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
内整理	0	0.00%	▲100.00%	1	0	0.00%	▲100.00%	43
私的倒産	0	0.00%	▲100.00%	1	0	0.00%	▲100.00%	43
合計	46	100%	15.00%	40	12,539	100%	▲89.13%	115,365

2022年度上半期宿泊業 資本金別倒産状況

資本金	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
1億円以上	0	0.00%	▲100.00%	3	0	0.00%	▲100.00%	1,332
5千万円以上	5	10.86%	66.66%	3	3,907	31.15%	100.15%	1,952
1千万円以上	21	45.65%	5.00%	20	4,140	33.01%	▲96.23%	109,827
5百万円以上	7	15.21%	40.00%	5	1,922	15.32%	8.71%	1,768
1百万円以上	9	19.56%	28.57%	7	1,823	14.53%	304.21%	451
1百万円未満	2	4.34%	-	0	382	3.04%	-	0
個人企業他	2	4.34%	0.00%	2	365	2.91%	942.85%	35
合計	46	100%	15.00%	40	12,539	100%	▲89.13%	115,365

2022年度上半期宿泊業 負債額別倒産状況

負債額	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
10億円以上	1	2.17%	▲85.71%	7	2,100	16.74%	▲98.06%	108,382
5億円以上	5	10.86%	25.00%	4	2,960	23.60%	11.86%	2,646
1億円以上	27	58.69%	92.85%	14	6,873	54.81%	77.91%	3,863
5千万円以上	5	10.86%	25.00%	4	335	2.67%	43.16%	234
1千万円以上	8	17.39%	▲27.27%	11	271	2.16%	12.91%	240
合計	46	100%	15.00%	40	12,539	100%	▲89.13%	115,365

2022年度上半期宿泊業 従業員数別倒産状況

従業員数	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
300人以上	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
50~299人	0	0.00%	▲100.00%	3	0	0.00%	▲100.00%	3,242
20~49人	2	4.34%	▲33.33%	3	690	5.50%	▲72.90%	2,547
10~19人	4	8.69%	33.33%	3	1,424	11.35%	64.05%	868
5~9人	8	17.39%	100.00%	4	3,781	30.15%	229.93%	1,146
~4人	32	69.56%	18.51%	27	6,644	52.98%	▲93.82%	107,562
合計	46	100%	15.00%	40	12,539	100%	▲89.13%	115,365

倒産概況

2022（令和4）年9月度 宿泊業の倒産

（負債額1,000万円以上の企業倒産）

	倒産件数	負債総額
	2 件	3億9,800万円
前年同月比	▲ 71.42%	▲ 83.09%
2021年9月	7 件	23億5,400万円
前月比	▲ 75.00%	▲ 90.40%
2022年8月	8 件	41億5,000万円

※TSRの倒産集計は、1952年の集計開始以来、法的倒産と私的倒産を含む

問合せ先：経済研究室
電話：03(6910)3157

倒産件数、負債ともに2カ月連続で前年を下回る

2022年9月の宿泊業倒産は件数が2件（前年同月比71.4%減）で、2カ月連続で前年同月を下回った。9月としては、2年連続で前年同月を下回った。

負債総額は3億9,800万円（同83.0%減）で、2カ月連続で前年同月を下回った。倒産件数の減少に加え、前年に3件発生した負債5億円以上10億円未満がゼロにとどまったことで負債を押し下げた。

形態別では、2件すべてが「消滅型」の「破産」（前年同月比60.0%減）だった。

原因別は、「販売不振」（前年同月比83.3%減）、「他社倒産の余波」（前年同月ゼロ）が各1件だった。

2件いずれも「新型コロナウイルス」関連倒産（前年同月3件）だった。

